



関小だよりは関小学校 HP でもご覧いただけます。

<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/seki/>

全国学力・学習状況調査の結果から

6年生を対象として1学期に実施しました「全国学力・学習状況調査」の個票を、先日、児童に配付しました。

亀山市全体の実態や課題、改善策等につきましては、亀山市のホームページで公表されます。

本校の結果につきましては、夏休み期間中に全職員で分析し、今後の教育活動・授業改善等に活用するため、方策を練りました。

今回の調査により測定できるのは、あくまで学力の特定の一部分ではありますが、学校としては結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に繋げていきます。

【国語】

- 「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」問題や「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」問題に関して、正答率は全国平均に届いていませんが、無回答率はともに0%です。特に前者は記述式でありながら、あきらめずに取り組もうとする姿勢がみられます。この姿勢について、適切な評価を加え、大切に維持していきます。
- 敬語に関する問題は特に苦手なようで、全国平均との間に大きな差があります。敬語については、知識を得ることと並行して、実際に使うことを経験させたいです。例えば、ゲスト・ティーチャーとの対話やお礼の手紙を書くこと等を通じて、敬語の習得を図ります。職員が正しい敬語でやりとりをするのを聞かせていくことも大切にします。
- 漢字の問題の正答率が低く、全国平均との間に開きがあります。よりいっそう、読書活動を推奨するとともに、普段から書く活動を取り入れます。「言葉の宝箱」を活用することや、ゲーム的な要素を含む活動を行い、日常的に言語能力の伸長を図ります。

【算数】

- 加法と乗法の分配法則、加法と乗法の複合などの計算は、全国平均と比較して6.4ポイント高く（本校78.8%、全国72.4%）、本校の強みであると言えます。しかし、それ以外の設問で、全国平均に達することができていないのは課題です。類似問題を繰り返し解く場を設ける等により、定着を図ります。
- 複数ページに渡る設問や、資料を読み取って答える設問については、必要な情報を探して活用することが苦手な児童が多いようです。また、題意を捉えたり、聞かれていることに正確に答えたりすることも、苦手な傾向にあります。そこで、問いの文から「何を聞かれているのか」を明確にし、必要となる情報や数字を選択して答えるという意識を子どもたちが持てるように練習します。加えて、題意を正確に捉えられるようにするために、文章

題を絵や図で表す活動を取り入れます。絵や図での表し方については、各学年で段階的に指導していきます。

- 子どもたちのなかで、筆算や公式などが計算のツールにとどまっていたり、一つひとつの意味を問われたり、活用を求められたりすると、答えられない児童が多いようです。そこで、公式や筆算の活用、立式などについて、「なぜ、そうなるのか」を学習時にしっかり理解できるようにするとともに、定期的に振り返って確認をしながら授業を進めます。

このような取り組みをはじめとして、子どもたちが確実に学力を身につけ、定着していけるよう、学校全体で活動改善を進めて参ります。例えば、漢字や表現力について、国語の授業をベースとしつつ、それぞれの教科や活動のなかで、子どもたちを励まし、伸ばしていきます。

ご家庭におきましても、ふだんから宿題等を見守っていただき、感謝申し上げます。一例ではありますが、家族で外出した際などに、お子さまが敬語をきちんと使えていたら、たくさんほめてあげてください。子どもたちのがんばりを認め、ほめることにご協力いただけると幸いです。



授業参観・関小学校教育懇談会を終えて

昨日5日（木）、授業参観と関小学校教育懇談会を開催することができました。突然、雨が降り出したり、強い風が吹いたりといった日になりましたが、たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。

PTA 文化教養部の皆様には、計画から会場準備、司会や運営、片付けなどにご尽力いただきました。

日本ペップトーク普及協会の田上のり子先生をお招きした懇談会では、①受容、②承認、③行動、④激励という4つのステップに沿って、ポジティブな言葉がけ「ペップトーク」について、わかりやすく学ぶことができました。

その後の分散会は、少人数だからこそ家庭の事情や本音を出し合いながら話ができ、いくつものグループから笑い声が聞こえる楽しいものになりました。分散会後の質問タイムでは、「こういときは、どうしたら良いのでしょうか」と具体的な場面を示しての質問があり、「ゲームやネットをやめない子には」「もともと、ネガティブ発言の多い子には」など、「なるほど!」と膝を打つアドバイスをいただきました。また、学級目標についても、「～しない」と否定形にせず、ペップトークで作ると良いというご助言がありました。

最後まで残り、片付けにもご協力をいただいた参加者の皆様、ありがとうございました。

